

令和6年度

芝久保小学校

地域とともにある学校づくり

4年生

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

单元名：やさしい町を目指して
(活動名) (みんながくらしやすい社会を考えよう)(わたしたちにできることを実践しよう)

ねらい：

- ・様々な方との交流や体験活動を通して、感じ方や考え方などを理解し、その人の立場に立って考えることができるようにする。
- ・様々な人が社会で暮らしていることを知り、共に暮らしていくために、自分たちにできることを考え、実践しようとする意欲を高める。



【9月24日】

アイマスクをして、教室や廊下をペアで歩きました。

アイマスク体験を通して、知っている場所でも見えないと不安なこと、声をかけてもらうことで安心することを体感していました。



【10月10日】

手話教室の授業を行いました。
聴覚障がい者の方や通訳の方をお招きし、手話や

便利な道具について教えていただきました。子どもたちからもたくさん質問が出て、自分たちにできることを一生懸命考える姿が見られました。



【10月21日】

テーマごとにグループを作り、交流や体験活動を通して、学んだことをまとめました。

11月の学習発表会では、まとめたことを全校児童・保護者・地域の方にむけて発表しました。

【2月13日】

「芝小思いやりプロジェクト」



優しい芝小を作るためにどんなことができるか考えました。校内で過ごしやすいう、視覚的に工夫をした看板を作りました。掲示場所や全校児童にどのように紹介するかを話し合っています。

まとめコラム

交流や体験活動を通して、様々な人々が社会の中で暮らしていることを知りました。今年度は、盲導犬・認知症・手話体験・図書館バリアフリーの出前授業を行い、たくさんの地域の方にご協力をいただきました。お話を聞いて、苦労されていることや便利な器具があること、公共施設にも工夫があることを知り、より詳しく調べたいという意欲につながりました。子どもたちの社会でもある芝久保小で、皆が暮らしやすくするために何ができるのか考え、様々な方が過ごしやすいうように、視覚的に分かりやすい看板を作成しました。今後校内に掲示していきます。(4年担任)